



農村生活体験事業

～ようこそ！ 自然の恵み野わっさむ町へ～

平成2年からスタートしたこの事業は、これまで27都道府県から105名の方が参加されています。今年は2名の実習生が10月末までの5ヶ月間、農村体験研修施設「ふれ愛の里」で生活をしながら、町内7戸の受け入れ農家で農業実習を行い、町内の各種イベントに参加し、和寒町のさまざまな魅力を体験する予定です。

実習生に 聞きました

Q1 和寒町の印象は？

坂口さん

最初、和寒町の市街地に入ると住宅が密集しており札幌と変わらないと思いました。でも、市街地は自転車で回れる範囲までで、その先は田んぼと畑が続いているだけだったので、やっぱり札幌じゃないんだと改めて思いました。

さがわ 佐川 まりこさん

- ・ 出身 福島県
- ・ 趣味 登山 動物好き

さかくち 坂口 みよこさん

- ・ 出身 札幌市
- ・ 趣味 読書 お菓子作り

お気軽にお声がけください
どうぞよろしくお願ひします！

佐川さん

山々に囲まれ、どこを切り取っても青い空と木々が視界に入り、癒しの空間が心にしみました。鳥やカエルの鳴き声、きれいな夜空がどこか懐かしさを感じさせてくれる場所だなと思いました。

Q2

農業体験をしたいと思ったきっかけは？

坂口さん

体調不良が続いた時、本で食べるものが自分の思考や身体をつくる大変重要な要素であることを知りました。お菓子やカップラーメン、冷凍食品には添加物が多く、それらを食べているから体調が悪かったのではないかと食生活を見直し、「安心で安全な食材を自ら生産する側になりたい」と思ったのがきっかけです。

佐川さん

コロナ禍での失業をきっかけに自分の考えを再度、見つめ直す時間が増えたことで、今後の人生をどうしていきたいかと悩みました。自分の中で

Q3

農業体験で楽しみにしていること、不安なこと、学んでみたいことはなんですか？

坂口さん

種や苗だった作物が育っていく過程を見られるのを楽しみにしています。農業の経験がないので不安は大きいですが、農家の方々の生活の中で学んでいきたいと思っています。

佐川さん

土に種をまき、水を与えればすぐ芽が出て実がなるものだと思うんですが、自然の中だからその問題点があり、マニュアル通りにいかないものだと思うので、改めて経験できるのはとても楽しみです。変わった野菜や果物も好きなので、お世話になる農家さんから色々お話が聞けたら嬉しいです。